

[ 成果情報名 ] 大果で早熟なビワ新品種候補「ビワ長崎6号」

[ 要約 ] ビワ新品種候補「ビワ長崎6号」は、「楠」に「茂木」を交雑して育成した早熟な品種である。ほぼ同時期に成熟する「長崎早生」と比べ大果となる。また、果肉は柔軟多汁であり食味良好である。

[ キーワード ] ビワ、交雑、新品種、早熟、大果

[ 担当 ] 長崎果樹試・育種科

[ 連絡先 ] 電話0957-55-8740、電子メールs00660@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] 果樹

[ 分類 ] 普及

-----  
[ 背景・ねらい ]

ビワの収穫期間は短く、経営規模を拡大する際の大きな障害となっている。特に優れた早熟な品種は少なく、果実がやや小さい「長崎早生」以外には経済栽培される品種がないため、新品種育成の期待が大きい。そこで、大果で早熟な個体の選抜を行った。

[ 成果の内容・特徴 ]

1. 「ビワ長崎6号」は、1974年（昭和49年）に「楠」に「茂木」を交配して作出し選抜した品種である。1996年（平成8年）に開始されたビワ第二回系統適応性検定試験に供試してその特性を検討した結果、2004年（平成16年）の常緑果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会において優秀性が確認され、新品種として適当であると結論が得られた。
2. 果実は短卵形で、果皮および果肉は橙黄色である。果頂部は平で、がく孔は開いている（図1）。
3. 育成地における苗木の6年間の試作データの平均では、成熟期が5月中下旬で「長崎早生」とほぼ同時期である。また、果実は50g以上であり「長崎早生」や「茂木」と比べ大きい。一方、糖度や酸含量には有意な差は認められない（表1）。
4. 育成地以外の千葉県から熊本県における試作試験においても、早熟で大果となる傾向は同様であり、果肉の香気は少ないが、柔軟多汁で食味が優れている（表2）。
5. 果皮に紫斑症、裂果、そばかす症の発生が甚だしい場合ある。裂果は、成熟期に雨量の少ない瀬戸内地域で軽い傾向がある（表2）。
6. 樹勢はやや強く、「長崎早生」と比べて枝がやや密に発生し、着花性も良好である。
7. がんしゅ病C系統菌には罹病性であるが、がんしゅ病A系統菌に抵抗性で、比較的がんしゅ病に強い。

[ 成果の活用面・留意点 ]

1. 「長崎6号」は早熟であり、「茂木」等の中・晩生品種との組合せにより、収穫労力を分散させ経営改善を図ることが可能である。
2. 導入に際しては、気候、土壌などの条件によりそばかす症や裂果が多発することに留意して適地を選択する必要がある。また、紫斑症が発生する可能性があり、袋の種類等の検討が必要である。

[ 具体的データ ]



図1 ビワ長崎6号の果実

表1 長崎県におけるビワ長崎6号の成熟期と果実品質

品種名	熟期	1果重 <sup>Z</sup> g	糖度 %	酸含量 mg/100g
長崎6号	5月25日	56.6 a	11.8	0.23
長崎早生	5月24日	46.9 b	12.2	0.27
茂木	6月2日	42.6 b	11.4	0.26
有意性		**	NS	NS

苗木における6年間（平成11年～16年）のデータの平均

<sup>Z</sup>:異なるアルファベット間は、シェッフェの方法による多重比較により5%レベルで有意差あり

表2 ビワ長崎6号の試験地別の成熟期と果実品質および果皮障害の発生程度

試験地	品種名	熟期 月・日	果実の 大きさ g	果肉の 厚さ mm	食味	香り	果汁 量	糖度 %	酸度 mg/100ml	果皮障害		
										そば かす	裂果	紫斑
千葉	長崎6号	6.01	51.0	8.6	良	少	多	15.3	0.14	中	甚	中, 無
	涼風	6.06	60.0	9.2	やや良	少	多	13.0	0.20			
	陽玉	6.08	48.0	9.9	中	微	中	11.3	0.20			
	房光	6.04	69.0	9.5	やや良	微	多	13.8	0.30			
和歌山	長崎6号	6.01	42.4	8.1	中	少	中	12.3	0.16	軽	無	無
	長崎早生	6.01	27.8	7.9	中	少	中	14.5	0.24	軽	無	無
徳島	長崎6号	6.01	56.3	8.8	良	少	多	14.5	0.27	中	無	無
	長崎早生	6.03	40.1	9.3	良	少	中	14.8	0.24	中	無	無
香川	長崎6号	6.02	46.0	7.8	良	少	多	14.1	0.28	中	軽	無
	茂木	6.04	38.6	8	良	少	中	13.9	0.25	中	無	無
愛媛	長崎6号	6.05	51.3	8.6	中	少	多	13.2	0.18	軽	無	無
	涼風	6.01	42.3	8.4	中	少	多	14.8	0.32	軽	軽	無
	陽玉	6.15	52.1	7.7	良	中	やや多	13.9	0.24	軽	軽	無
熊本	長崎6号	5.27	57.7	7.5	良	無		11.1	0.36	軽	中	軽
	長崎早生	5.27	46.2	7.5	良	中		12.5	0.40	中	中	軽
	涼風	5.27	58.4		中	少		11.6	0.39	無	軽	無
	茂木	5.27	50.1	7.8	中	少		11.7	0.40	軽	中	軽
	陽玉	6.02	51.0		中	中		10.9	0.58	無	軽	軽
長崎	長崎6号	5.22	47.2	8.8	中	少	多	10.9	0.25	中	甚	中
	長崎早生	5.21	42.2	8.7	中	少	中	10.7	0.26	中	軽	無
	茂木	5.27	40.0	8.3	中	少	中	11.2	0.30	中	無	無

「平成16年度 果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会資料」より

[ その他 ]

研究課題名：ビワ新品種の育成

課題ID：

予算区分：指定試験

研究期間：1974～2004年

研究担当者：根角博久、寺井理治、富永由紀子、福田伸二、稗圃直史、佐藤義彦、

長門 潤、中尾 敬、吉田俊雄、浅田謙介、橋本基之、森田 昭、一瀬 至